

## 天竜川シードルバレー・ブランディング事業

### 取組に至る背景・事業の目的

飯田下伊那地域の主要特産品であるりんごを原料とした「地シードル」の製造・販売の動きが活発化している。このシードルを新たな地域ブランドに育て上げ、国内外に魅力ある交流・観光資源となることを目指すとともに、りんご生産者を含めた関連異業種の連携により地域経済の向上・発展を目指す。

### 事業内容

- 1 海外ジャーナリストによる県内シードル醸造所取材活動  
県内各地の生産者・醸造者の取材活動を通じて、専門的な知見と経験から世界及び日本全国から見た長野県のシードルの個性・特長を明らかにした。
- 2 ナガノシードルコレクション・シードルウィークの開催  
国内各地で実績をあげてきたシードル試飲イベント「シードルコレクション」を飯田に誘致することで、りんごとシードルのまち飯田を全国へアピールし、シードル飲食文化の醸成やシードルを通じた都市農村交流を図るとともに、コレクション前後一週間を「シードルウィーク」として位置づけ、地元飲食店とタイアップして、多くの店で若者からお年寄りまで気軽にシードルを楽しめる仕掛けづくりをした。
- 3 ナガノシードルセミナー  
県内の生産者・醸造者、行政、研究者等シードル関係者を一堂に会し、地域ブランド構築やシードル醸造に関して共に学ぶ機会を設けた。



【ナガノシードルコレクション】

### 事業効果

- ・醸造所取材により、県産シードルの特長や、今後の国内市場やインバウンドを見据えて産地が取り組むべき課題について明らかになった。
- ・コレクションでは全国から325名と多くの参加者があり、愛飲家はもとより飲食店や流通業者等の事業者も来場し、認知度向上とともに県産シードルの消費拡大と流通拡大のきっかけとなった。
- ・ウィーク参加店舗は飯田市や松川町等を中心に35店舗にのぼり、飲食店での取り扱いの機会を創出できた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・取材成果を関係者と共有し、シードルの品質向上や多様化につなげるとともに、生産者以外の異業種との連携を進め地域ブランドの確立やインバウンドを含む交流人口の増加につなげる。
- ・翌年以降も各種イベントの継続開催を図るだけでなく、規模や内容も発展させることで、より効果的な事業となるよう検討していく。

#### 【選定のポイント】

”シードル振興は飯田から”というメッセージを全県に伝えることができた。シードルウィークでは飲食等関係者とのコラボにより、若者から中高年齢層まで幅広い人々にシードルの良さを訴えることにつながった。この取組を契機に、管内のシードル関係団体相互の意見交換の場が初めて開かれるとともに、南信州全体でシードルを振興していこうという機運が高まった。

|         |  |       |            |
|---------|--|-------|------------|
| 団体名     | NPO 国際りんご・シードル振興会（飯田市）   | 事業タイプ | ソフト事業      |
| メールアドレス | <a href="mailto:office@pommelier.net">office@pommelier.net</a> | 事業費   | 2,778,400円 |
| ホームページ  | <a href="http://pommelier.net/">http://pommelier.net/</a>      | 支援金額  | 1,717,000円 |